

## パルマワラビーのパット摩耗改善を目的とした飼育環境の整備

○柴田 枝梨  
(横浜市立金沢動物園)

金沢動物園で飼育しているパルマワラビー (*Macropus parma*) で、パットのかかところが摩耗していることが健康管理の上で懸念事項であった。飼育環境の床面を改善することで、調査対象とした No.1 雌個体のパットの状態に変化が見られるかを調査した。

2021 年 5 月より寝室・展示場・サブパドックの床材を変更し、8 月上旬に一時的に摩耗は止まり改善したものの、秋季一時的に進行した。翌年 1 月に展示場のコンクリート面にゴムチップを施工することで、3 月には摩耗が改善し一定の成果がみられた。